

腓体尾部切除術を受けられる
様へ

説明医師
説明看護師(外来)
看護師(病棟)

月日	月 日		月 日		月 日					
経過	入院日		当日術前		当日術後		術後 1 日目			
目 標	心身ともに安定した状態で手術を受けられる 治療に対する不安を表出できる				術後合併症を起こさない（出血、深部静脈血栓症、肺炎、 縫合不全、感染、腸閉塞） 合併症予防のためリハビリ（歩行訓練、呼吸訓練）がおこなえる					
検 査	 身長、体重測定 採血		体重測定		 採血  レントゲン撮影					
食 事	夕食後絶食、21 時以後絶飲食 経口補水液は、麻酔科の指示で服用				 絶飲食		 朝より水分少量開始			
処 置 ・ 観 察	朝食は 自宅で									
	リストバンドを装着 します（退院日まで） 弾性ストッキングの サイズを測定し、 お渡しします 臍処置します （シャワー前）  必要時、糖尿病・ 内分泌科の診察が あります		 時間になれば、 看護師が手術室に ご案内します		手術後以下の挿入物、 装着物があります ・酸素マスク ・サンプチューブ ・心電図モニター ・点滴の管 ・背中のチューブ（鎮痛剤） ・創部のチューブ（鎮痛剤） ・創部の管（ドレーン） ・尿道カテーテル ・フットポンプ（血栓予防）		 創部を観察、処置を 行います			
	 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります									
点 滴 ・ 内 服	 持参薬、お薬手帳 を看護師にお渡し ください  以下を服用します ・ 昼 500ml の下剤 ・ 眠前 下剤		 手術室で点滴を開始 します（手術が午後 の場合は、病棟で点 滴を開始します）		 以下の点滴を行います ・ 持続点滴 ・ 抗菌薬 ・ 鎮痛剤 ・ 胃薬					
行 動 ・ リ ハ ビ リ	 シャワー・浴洗髪を します 		 以下の手術準備を します ・ 手術着に着替え ・ 弾性ストッキング装着 ・ 入れ歯、アクセサリ、 時計等の取り外し		 術後、集中治療室に ベッドで入室します		 午前中 全身清拭し、手術着から パジャマに着替えます			
	 制限ありません  リハビリ科の診察があります				 翌朝まで ベッド上安静		 付き添いのもと、リハビリ を開始します			
説 明	 医師・麻酔科医より説明（外来又は入院時） ・ 治療計画について ・ 手術について ・ 麻酔について  病棟・手術室・集中治療室看護師より説明 ・ 入院生活について（バスシートを使用） ・ 手術について ・ 集中治療室について  薬剤師より説明 ・ 持参薬確認 ・ 使用薬剤について				 医師より説明 ・ 手術結果について  看護師より説明 ・ 術後の注意点について ・ 安静について ・ 下肢運動について ・ 痛み止めの使用方法に ついて					

* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

P 2 / 3

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日	月 日～ 月 日	月 日～ 月 日
経過	術後 2 日目	術後 3～4 日目	術後 5～9 日目	術後 10 日目～退院日
目標	術後合併症を起こさない（出血、深部静脈血栓症、肺炎、縫合不全、感染、腸閉塞） 合併症予防のためリハビリ（歩行訓練、呼吸訓練）がおこなえる			
検査	体重測定	 3 日目・5 日目・7 日目・必要時  レントゲン撮影		
食事	朝より流動食開始	3 日目 朝より五分粥食 4 日目 朝より全粥食	5 日目 朝より常食	退院日は、朝食のみ
	  	  	  	  
処置・観察	以下の挿入物があります ・点滴の管 → 点滴が不要となれば抜去します ・背中チューブ（鎮痛剤）→ 術後 2～3 日で抜去します ・創部の管（ドレーン）→ 術後 4～5 日で抜去します ・尿道カテーテル → 術後 2～3 日で抜去します  創部を観察、処置を行います			退院時にリストバンドを外します
	 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります			
点滴・内服	 以下の点滴を行います ・持続点滴 ・鎮痛剤 ・胃薬			
行動・リハビリ	 状況に合わせて、全身清拭、洗髪、足浴を行います  尿道カテーテル抜去後はトイレで排尿できます	 創部の治癒状況に合わせてシャワー浴を再開します （週 3 回、病棟毎で日が異なります）		
	 リハビリを継続します			 （退院日） 朝食後退院です
説明			 医師より説明 ・退院後の治療計画、療養上の留意点について  看護師より説明 ・退院後の療養生活について （退院療養計画書をお渡しします）	

手術後の傷の痛みを教えてください

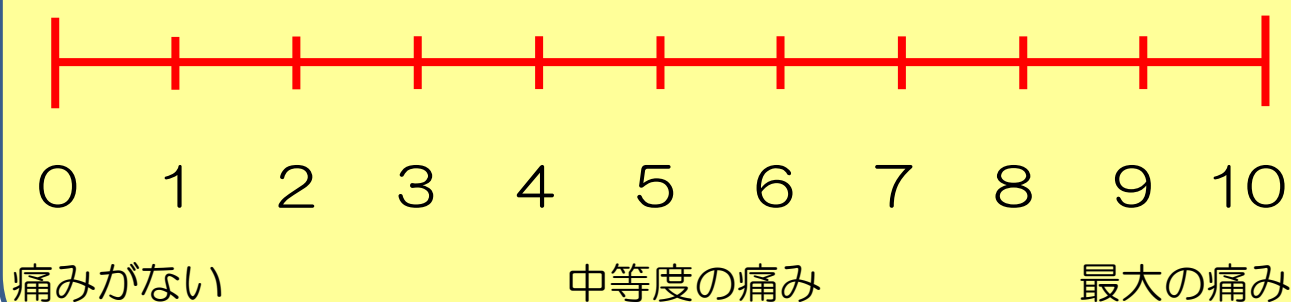
講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された術後疼痛管理チーム（APS）チームが、患者さんの傷の痛みに対して、手術前から計画を立て、傷の痛みが軽減するよう取り組んでまいります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale)：痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。



手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください

10 を最大の痛みとした場合
今の痛みはどのあたりですか



APS チームがサポートします。

よろしくお願いします。

